

講座(公開授業)予定表

回	日時・テーマ	内容	講師
第1回	「アジア共同体創成とアジア人財育成」 ●西九州大学の国際化戦略と100年ビジョン(向井常博) ●アジア共同体創成への学問(金哲) 2016年9月28日(水) 13:00~14:30	【オープニングステージ】 ・「今なぜ「アジアコミュニティ」を問うのか」アジア圏域全体のグローバル化と健康福祉プロフェッショナル人財育成に関する全体像と将来像について問題提起する。 ・本講座の主催大学を代表して向井学長と、寄附財団を代表して金哲先生が、経緯、趣旨、期待などについて講演し、トップ対談する。	司会:田中豊治 (西九州大学教授) 向井常博 (西九州大学学長) 金哲 (安徽三聯学院副学長)
第2回	教育のグローバル化と大学のミッション ~ローカル大学のサバイバル戦略~ 2016年10月5日(水) 13:00~14:30	世界的競争環境の中で差別・貧困・格差が拡大している。「人間を幸福にする学問とは何か」、とりわけライフワークとしての平和、脱原発、新エネルギー、国際的公共圏(「太平洋は誰のものか」など)、そして国際交流などについて、次代の若者にメッセージする。	長谷川 照 (佐賀大学元学長)
第3回	地方創生時代における地域と大学 ~新しい市民協働のまちづくり~ 2016年10月12日(水) 13:00~14:30	地域社会の発展と地域住民の福祉実現に取り組む行政の立場から、まちづくりコミュニティ政策、地域と大学との連携協力、地域の国際化など、「これからの地域づくりと大学との新しい関係性」について語る。	松本茂幸 (神埼市長)
第4回	特別講演:ワンアジア財団のビジョンとマインド 2016年10月19日(水) 13:00~14:30	「未来への希望と夢を共有する皆さんのエネルギーは、国家の壁を越えて、アジアを一つに、さらには世界を一つに繋げていくものと確信します」という、佐藤理事長のフィロソフィーをオープンマインドし、近未来からの使者である若者たちに静かに熱く語りかける。	佐藤洋治 (ワンアジア財団理事長)
第5回	教育のグローバル化 ~EC(ヨーロッパコミュニティ)からAC(アジアコミュニティ)へ~ 2016年10月26日(水) 13:00~14:30	国家・国境を超えるグローバル教育圏としてのEUのエラスムス計画は、果たしてアジアリージョン(圏域)においても実現可能なのか、国際経済学者としての理論的・実践的分析を通して、新たな水平への手掛かりを切り拓く。	張 韓模 (佐賀大学教育学部教授)
第6回	アジアコミュニティの可能性と条件 ~政治学の視座から問う~ 2016年11月2日(水) 13:00~14:30	「アジアの中の九州」という視点から、アジアの動向をどう考え、どう対応していけばいいのか、そのヒントを考える。とくに自らの市民活動体験を踏まえ、「アジア市民社会づくりのための社会変革」に関する発想転換への思想的・学問的根拠について問いかける。	石川捷治 (久留米大学教授・九州大学名誉教授)
第7回	日本型社会福祉モデルとアジア福祉国家モデルの新たな可能性 2016年11月9日(水) 13:00~14:30	これまで生涯をかけて社会福祉研究に従事してきた碩学の視点から、「日本型社会福祉モデル」の可能性と限界について触れ、厳しい現実状況を踏まえた上で、さらに「アジア福祉国家モデル」の新たな展望について、衣鉢を継ぐ者たちに語る。	古川孝順 (西九州大学国際交流センター長)
第8回	タイにおける日本人コミュニティ ~シーラチャーの場合~ 2016年11月16日(水) 13:00~14:30	シーラチャーは日本人街で、日本人とタイ人がお互いを尊重しながら、環境状況にうまく適合し生きている共生社会である。これからの「アジア・コミュニティづくり」のモデルケースとして報告して頂く。	パンセク・アトントウラスク (タイ・プラバー大学東洋言語学科助教授)

講座(公開授業)予定表

回	日時・テーマ	内容	講師
第9回	アジア若者フォーラム:「アジア若者のサブカルチャーと心身の健康」 2016年11月26日(土) 時間:10:30~12:00 会場:佐賀文化会館	永原学園創立70周年記念事業への参加。これからのアジア社会において、「脱・超国境」ではなく、既に「国境なき時代」に生きる若者は、アジア人として、どうつきあっていけばいいのか。若者文化としてのマンガ、アニメ、動画、スマホなどの現状を探る。併せてストレス、成人病、食生活などを共通課題に、「若者をめぐる心身の病理と健康」について語り合い、同時代に生きるヒントを見つけたい。	西九州大学生+外国人交換留学生+JASSO留学生(中国・韓国・タイ・ベトナム) =コラボによる国際協働イベント
第10回	グローバルトレンドと日本のアジア外交政策 2016年12月7日(水) 13:00~14:30	日本の対東南アジア外交政策研究の第一人者で、国際交流プログラムを企画運営、また自らも国際家族を持つ「グローバル人材」という立場から、「アジアの平和」のために今何が最も必要であるか、ビジョンとアクションについて話して頂く。	須藤季夫 (南山大学総合政策学部教授)
第11回	国際交流と留学生 ~留学生の意識と行動~ 2016年12月14日(水) 13:00~14:30	外国人留学生の留学に対する価値観、適応力、満足度など「国際比較調査」の結果に基づき、留学の意義を語り、若き日の留学を積極的に推奨する。さらに留学成功のノウハウについても的確なアドバイスをして頂く。	ユビョンブ (韓国・モコン大学国際交流センター)
第12回	●現代中国の英語・日本語教育(張躍軍) ●日中関係~中国から見た日本~(孫勝強) 2016年12月21日(水) 13:00~14:30	現代中国における英語・日本語教育、および廈門理工学院における国際教育・国際交流は、どのような理念と方針に基づいて実施されているのか(張)。さらに中国側から見た「日中関係」のあり方について(孫)、率直な意見を聞きたい。	張 躍軍 (中国・廈門理工学院外国語学部長) 孫 勝強 (同日本語学科長)
第13回	コミュニティ人間教育 ~すべての子ども・若者が「安心」と「希望」を抱ける地域づくり~ 2017年1月11日(水) 13:00~14:30	ひきこもり、不登校、家庭内暴力、ニートなど、子ども・若者が抱える諸問題に真正面から取り組む「佐賀を代表する日本の若き教育フロンティア・リーダー」の言霊を聞く。NHK「プロフェッショナル~仕事の流儀~」(2015年放送)。「内閣総理大臣表彰」受賞	谷口仁史 (NPOスチューデント・サポート・フェイス代表理事)
第14回	国際シンポジウム:「アジアの時代における健康福祉プロフェッショナル人財育成」 ~日本型福祉モデルからアジア型福祉モデルへの展望~ ~西九州大学はいかに取り組むのか~ 2017年1月21日(土) 時間:13:00~16:00 会場:神埼キャンパス	アジア地域社会が抱えている「健康福祉の共通課題」を探り、その「現状分析-原因解明-改善提案-行動計画」について討論し、できれば「アジアスタンダードのモデル化」に取り組みたい。 開会の挨拶:酒井出(健康福祉学部長) 【1部】基調講演:「アジア高齢社会における地域福祉のまちづくり・ひとづくり」 講師:炭谷 茂(恩賜財団済生会理事長・元環境省事務次官) 【2部】国際シンポジウム:「社会福祉から人間福祉への展望」 パネリスト:福岡資麿(参議院議員)(予定) 佐賀県(行政の立場より) 趙 文基(スシルサイバー大学 高齢者福祉学科長) 富永健司((社)九州キリスト教社会福祉事業団 理事長) 岩本昌樹((社)くだまつ平成会 法人本部長) 滝口 真(社会福祉学科長) コーディネーター:富吉賢太郎(佐賀新聞社専務取締役・編集主幹) 閉会の挨拶:田中豊治(国際地域コース長)	炭谷 茂 (恩賜財団済生会理事長・元環境省事務次官) 福岡資麿 (参議院議員)(予定) 行政の立場より 趙 文基 (スシルサイバー大学 高齢者福祉学科長) 富永健司 ((社)九州キリスト教社会福祉事業団 理事長) 岩本昌樹 ((社)くだまつ平成会 法人本部長) 滝口 真 (社会福祉学科長)
第15回	いま、なぜアジア共同体なのか ~アジア共同体の必要性和その意味~ 2017年1月25日(水) 13:00~14:30	主権国家内での自律的な意思決定が、国境を越えて周辺地域のみならず、地球村全体に破滅的な影響を及ぼす。国民国家を超えて、地域協力・連帯を考えていかねばならない。いま、私たちは環境や人間の生命についての配慮に躊躇し、経済的効率性のみを追求してきた社会構造、価値体系、社会のあり方から、新たな方向を模索していかねばならない時にきている。そこで「アジア共同体論が意味するものは何か」について考える。	鄭 俊坤 (ワンアジア財団 主席研究員)